



わたげ探偵!! こんなの調べてみました!

～むかしの家編～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域*には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ! 今回は多摩地域に点在する古民家や近代建築などを調査してみたよ!



- 🔍 多摩地域にはずいぶん昔から人々の営みがあったんだ。
- 🔍 縄文時代から大正時代までさまざまな家を探してみたよ。
- 🔍 時代によって家のスタイルが変化していくのがとっても面白かったよ。



④ 国立市古民家 (国立市)

江戸時代後期に建てられた旧柳澤家住宅が移築されているよ。建物内では囲炉裏に火がくべられていて雰囲気があったよ。
歩いてすぐの「くにたち郷土文化館」はみどころたくさんだし、「矢川おんだし」、「ママ下湧水公園」など豊富な湧水が流れる癒しスポットが周辺に点在しているのでついでに訪ねてみては。



⑤ 小平ふるさと村 (小平市)

5棟の古民家をはじめ水車小屋や消防小屋を見ることができよ。園内は3つのゾーンに分かれていて、いにしへの小平の生活を感じることができたよ。毎月様々なイベントが行われているので何度訪れても楽しいよ。
写真は赤い屋根の旧小平小川郵便局舎。小平グリーンロード沿いにあるので自転車で乗って訪れるのもオススメだよ。



煙突が立派な旧山本有三邸

⑥ 山本有三記念館 (三鷹市)

三鷹駅から歩いてすぐのところに作家・山本有三さんが1936年から10年ほど暮らした立派な洋館が一般公開されているよ。大正末期に建てられた本格的な洋風建築で暖炉がなんと3つもあるよ。館内には実際に使用された洋室書斎、敷地内には綺麗に整備された有三記念公園などみどころたくさん。
3月7日(日)まで企画展「『日本少国民文庫』が灯したもの」が開催されているよ。行かなきゃ!



『日本少国民文庫』の展示

あらすじ

前回まで多摩地域を西から東まで歩いたわたげ探偵、次はどこに行くのかな? わたげ探偵はどうやら多摩地域に点在しているむかしの家に興味を持ったようです。
今月号からは街歩きと並行して、わたげ探偵がその時々気になったテーマで多摩・島しょ地域の隠れた魅力をレポートしてくれるみたいですよ。



⑦ むいから民家園 (狛江市立古民家園)

むいから(※)ってどんな意味?変わった名前の古民家園があると聞いて狛江に行ってきたよ。
園内には2棟の古民家があって写真の旧荒井家住宅は建物の中に入って見学することができたよ。
日の当たる縁側に座ってのんびり過ごすのがオススメだよ。
※麦わらのこと。



⑧ 川越道緑地古民家園 (立川市)

とっても大きい古民家が立川にあったよ。園内に移築された旧小林家住宅は6部屋もあるんだ。間口約19メートル奥行き約11メートル。オクと呼ばれる大切なお客様をもてなす部屋は装飾がとても綺麗。中に入る事ができるよ。
園内の畑では麦やさつま芋を育てていて、麦の刈り取り・脱穀体験、さつま芋の収穫体験ができるんだ。



縄文前期の竪穴住居

⑨ 遺跡庭園「縄文の村」(多摩市)

今回調べた中で一番古い家がこちら。多摩センター駅前の賑やかな街並みに突如現れる縄文時代の遺跡。庭園内に復元された時期の異なる3棟の竪穴住居では、日替わりで火が焚かれて縄文時代の雰囲気を楽しむことができるよ。



竪穴住居跡の模型

縄文の村に隣接する東京都埋蔵文化財調査センターでは多摩ニュータウンで発掘された遺物などが展示されているので、庭園とあわせてタイムトリップ気分を堪能できるんだ。

今回は紹介しきれなかったけれど、多摩・島しょ地域にはむかしの家が点在しているので探してみてね。次回はどこにしようかな。



今回紹介した施設の最新情報は各施設のホームページなどでご確認ください。また、コロナ禍の影響により開館時間の変更、入館制限が発生する可能性がありますので、ご利用の際は事前に各施設に確認されることをお勧めします。